

工業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
工業	にいはま学Ⅱ	2	3年次・Ⅰ2	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
とおきの新居浜検定テキストブック 編著者：新居浜検定事業運営協議会 発行：新居浜商工会議所別子銅山		近代化産業遺産 八十八か所 ふれあいめぐりあいガイドブック （新居浜南高校ユネスコ部）		・にいはま学Ⅰをできれば履修すること。 ・にいはま学Ⅰの注意点を確認すること。 ・校外での活動がより活発になり、プロジェクトの内容によっては、休日の活動も実施する場合がある。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
工都新居浜のまちづくりプロジェクトマネジメントプランや小中学校への出前講座、地域イベントへの参加等を通して実践的に学習し、問題解決能力を身に付ける。また、地域に生きる自らの社会的役割を自覚し、新居浜の持続発展可能なまちづくりの創り手として、SDGs達成に貢献する人材となり得る企画力、実践力、発信力を養う。		
評価の観点及びその趣旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
別子銅山や新居浜の歴史的・文化的価値や現状を理解し知識を身に付けている。そのことを他の学習や生活の場面に応用できる技能を身に付けている。	修得した知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現し、実践している。	主体性を持って多様な人々と協働して自らの学習の調整も適切に行い、粘り強く学ぶ態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1学期	「高校生まちづくり観光プロジェクト」 ・プランの作成 ・プランの準備 ・プランの実施 ・プランの総括	4 5 6 7	・プロジェクトプランを決定する。 ・プロジェクトロードマップを作成する。 ・関係団体との連絡と調整を行う。 ・テキストブック等を活用した資料を作成する。 ・事前シミュレーションを行う。 ・課題の発見と解決を図る。 ・環境の整備を行う。 ・安全の確認を行う。 ・関係団体との連携による実践を行う。 ・プロジェクトの反省を行う。 ・報告書を作成する。	1 2 3
	2学期	小中学校への出前講座「別子銅山を学ぼう」 ・計画と準備 ・校外学習 ・出前講座の総括 行政等の企画イベント参画 ・計画と準備 ・校外学習 ・報告書作成	9 10 11 12	・テキストブック等を活用し講座の計画と準備を行う。 ・出前講座を実践する。 ・出前講座の反省を行う。 ・行政等のイベント参画の計画と準備を行う。 ・イベントへの参画の実施を行う。 ・イベント参加の反省を行う。 ・報告書を作成する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期		プロジェクト実践報告会		1 2 3	・プロジェクト実践報告会の準備を行う。 ・プロジェクトプラン実践報告会を実施する。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	○プロジェクトプランの実施を通して、体験的に理解でき、自分のものとして習得できているか。 ○出前授業や各種イベントのプロジェクトプランを計画的に作成できるか。		○それぞれの活動について、自ら考え、その場に応じた判断を行い、行動できているか。		○プロジェクトや出前講座、その他イベントに関心を持ち、学習活動に積極的に参加しているか。	
	手 段	・課題、レポートの内容 ・実践の取り組みの様子 ・作成されたプラン ・作成された報告書		・定期考査 ・課題の内容		・参加の仕方や態度 ・課題やノートの提出	
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。				
	学習上の留意点		・授業での理解を確実なものとするため、予習・復習を行うこと。 ・別子銅山関連施設や企画展示会の見学などに積極的に参加し、本物に触れる体験を行うこと。 ・新居浜市および関連のホームページや市政だよりなどに目を通し、新居浜市の現状に目を向けること。 ・他地域にも広く目を向け、ICTを活用するなどして情報収集し、視野を広げること。				